

とやま



特集/日本の花と緑の県をめざして

新富山県グリーンプランスタート

県庁探訪/環境衛生課

ふるさとみてある記/庄川町

とやま国際交流フェスティバル

きたのヘルシスタジオ主幹 体操指導

北野 裕美子

六月二十二日(土)、空港近くの県総合体育センターで、国際交流フェスティバルが開催されました。富山県在住の十七カ国の外国人約百人と、富山県にホームステイ中のオレゴン州からの学生三十七人を、富山の主婦千五百人がお迎えしての大運動会でした。

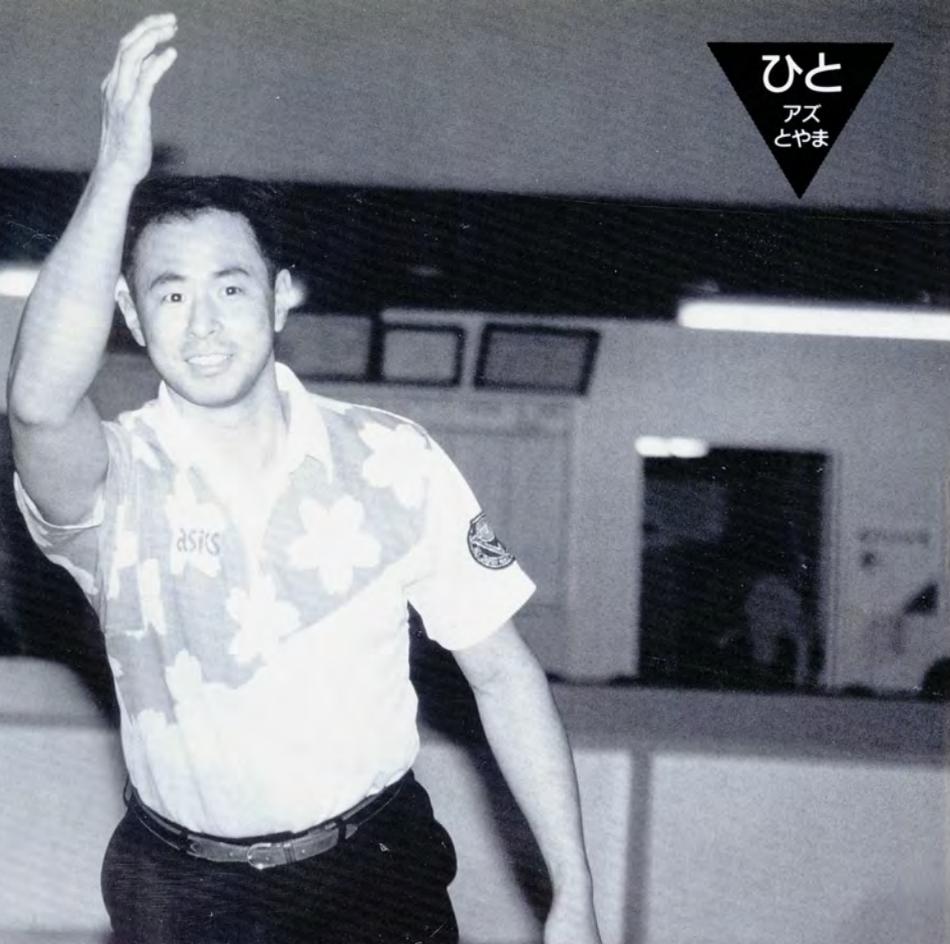
私は、準備体操を依頼されたのですが、幼稚園児からお年寄りまでの老若男女千六百人が集まり、満席となった体育館はすごい熱気に包まれていました。とても楽しそうに踊っている一人の女性を舞台に誘ったところ、「オー・サンキュー」と喜んで上がり、音楽に合わせて大きな声で歌い、元気なカケ声がかげながら、とても楽しくステキに踊っていました。中国の静かな「練功」の曲に変わると、目を潤ませ「オオ・ワンダフル」と、まるで何かを思い出すかの様に感動を体一杯に表現していました。外国人の人達につられて会場は動きの渦と化していました。いくら外国人のノリとはいえ、彼女の体当りの動きは、ひととき素晴らしいものでした。

舞台上上がったくれた彼女にお礼を言ったところ、「謝々」という言葉が返ってきたので、中国の音楽が懐かしくて目を潤ませていたの

かたずねると、「No」という返事。彼女は、フィリピンの人で、GREENDA・中西さんといい、昨年十一月に利賀村の民宿西村さん宅に嫁いで来られたとか。

翌朝早く、我が家の電話のベルが鳴り、グレンダーのはずんだ声で「ハロー・グッドモーニング」。彼女が英語で「昨日はとても楽しくてうれしかった」と話した後、ご主人が代わって下さり、「妻は、少し体の具合も悪かったので、心配しながら参加させたところ、とても明るい笑顔で帰ってきた」と、奥様を思いやる優しい口調で話してくださいました。日本に嫁いで、静かな利賀村で生活していた彼女にとって、たくさんの人と一緒に、楽しい音楽のリズムにのって踊ったことが、いかに心と体をほぐし、明るく生きるエネルギー源になったかということ、熱っぽく話してくれました。国内とはいえ、大阪から嫁いで来た私にとって、彼女の気持ちは十分理解できるものでした。数日経ってこちらから電話したところ、二人とも大喜びで、民宿の仕事をしながらご主人に日本語を教えてもらい、ご両親もとても優しくして下さるのだけれども利賀村の言葉は難かしい等と話してくれまし

た。そして、何よりもご主人の自慢話をする彼女は、とても愛らしく思われました。利賀村を訪ねる約束もでき、体操仲間と、ささやかな国際交流の利賀村への小旅行も今年のうち実現することでしょう。

ひと
アス
とやま

世界へストライク!

オールトヤマクラブ 山本 浩さん

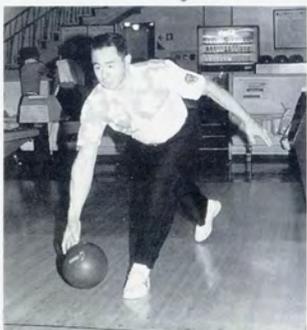
「豪快なピンアクションがたまらないですね。気持ちスカッとします」とさわやかな笑顔で楽しそうに話す山本浩選手。この八月二十日からシンガポールで開かれるアマチュアボレーリングの第十二回世界選手権に、日本チームの一員として参加します。

この世界選手権は四年に一回開かれ、約五十カ国が参加するまさに世界最強のボレーを決める大会で、日本チームのメンバーになるのはとても難しいと言われています。男女各六人が選ばれた二月の選考会には、山本選手をはじめ全国のトップレベルの選手が登録されたナショナルチームの二十七選手が参加しましたが、ここで見事一位になり、出場を決定しました。

「十二年前に出場した時は緊張して全然ダメだったので、今度は何とか決勝のマスターズ戦まで残り、日本男子勢で初の入賞を果たしたいですね」と仕事の合い間をぬって意欲的に練習に励む山本さん。ダイナミックな打球フォームに、並々ならぬ気迫が感じられます。

四年程前まで数年間、仕事等の都合でボレーリングをやめていた山本さんに、「おまえがいないとさみしい、また一緒にやらないか」と声をかけてくれたゴールデンボウル会長の浅井さんやオールトヤマクラブのメンバー。この仲間の熱い期待に応えてカムバックした山本さんは、長いブランクをもとめせず、沖縄国体の公開競技一位をはじめ、その後、正式種目として認められた昭和六十三年の京都国体以降、三位、二位、二位と何ががふっきたように大活躍。

「五年後、アトランタオリンピックで、ボレーリングが正式種目として登場しますが、これにぜひ出場したいですね。そのためには、八月の世界選手権、九月の石川国体でよい結果を出し、その足がかりにしたい。」アベレージ二〇二という驚異的な数字はプロにも負けない位の實力です。その太陽のような明るいキャラクターで、世界へホップ、ステップ、ストライク!





世界の特産品に、連日大賑わい

とやまトレードフェア'91

海外の特産品を一堂に展示し、それを通じて世界の文化に触れる「とやまトレードフェア'91」が、六月二十日から二十三日にかけてテクノホールで開催されました。世界各国の安くて良い食料品、衣料品、貴金属、雑貨などが展示即売されるといって、例年大好評のこのイベントですが、八回目を迎えた今年は、アメリカ、カナダ、デンマーク、中国など十三カ国が参加しました。家族連れを中心に四日間で十万人もの人が詰め掛け、会場は連日大賑わいでした。

また、会場の一角には、富山県と友好関係を結んでいる各国の県、州を紹介するコーナーも設けられ、来場者の注目を集めていました。



若者の真剣な目、そして熱い語り…

第1回富山県交通安全青年カレッジ開催

第一回富山県交通安全青年カレッジが六月十七、八日の両日、県民会館で開かれました。これは増加する交通死亡事故のうち約四割が若者ドライバーの事故であることから、各市町村から推薦された二百四十七人の交通安全青年協力員を対象に開催されたもので、若者の事故の防止を図るとともに交通安全の啓発を狙いとしています。

青年協力員は、富山消防署の救急隊による実技を交えた救急法を学んだり、運転教育スパーバイザーの細谷四方洋さんや、交通評論家の小林實さんの講演を真剣な表情で聴いていました。

講演後のミーティングでは「若者の交通安全意識を高めるには何が必要か」、「交通安全青年協力員として何ができるか」などについて活発な意見交換が行われました。





第3回世界ポスタートリエナーレトヤマ1991・開催中

～脈打つ時代の証言者たち～



式典
1991表彰式

激変する社会情勢をアバンギャルド(前衛的)な色彩感覚でとらえ、たくましく訴えかけるポスターを三年に一度国際公募して行われる「世界ポスタートリエナーレ」が、県立近代美術館で開催されています。ポスターのオリピックともいえるこのポスター展は、今年で三回目。今回は世界四十八カ国から、文化、社会、政治をテーマにしたA部門、商業用ポスターのB部門に、合わせて二千六百点以上の応募があり、その中から選ばれた三百四十八点の作品と、審査員の作品五十八点の計四百六点が展示されています。

A部門で金賞を受賞したのは、ミシェル・カレースさん(フランス)の「花市場」、そしてB部門で金賞を受賞したのは、サイトウマコトさん(東京)の「BLACK T O S O U L E R」で、サイトウさんは三年連続の金賞受賞となりました。

なお、七月四日の同ポスター展のオープニングに先立ち、近代美術館十周年式典が行われ、初代館長である小川正隆さんに、名誉館長の称号が授与されました。

同ポスター展は九月五日まで開催されています。

広げよう、世界の人とのふれあいを

富山県婦人国際交流フェスティバル



平成三年度富山県婦人国際交流フェスティバルが、六月二十二日、県総合体育センターで行われ、県内の婦人や在日外国人、米オレゴン州教育訪問団一行など約千五百名が参加し、親交を深めました。

今年のフェスティバルは体を動かしながら相互理解を深め、国際交流の輪を広げてもらおうと、初めてスポーツ交流会の形で行われました。

フェスティバルは、保育園児三十人によるかわいいマーチングバンド演奏で開幕。八木県教育長のあいさつと国際交流を進める標語・体験文の表彰の後、スポーツ交流会が始まりました。参加者はジャズダンスなどの健康体操で汗を流した後、四チームに別れて、「ドッジボール」や「玉入れ」、「四人でゴーゴー」などに挑戦。ハッスルプレーの続出に、各国の言葉で大きな声援が飛んでいました。その他、全員による「おわら踊り」も行われ、会場内は終始、言葉の壁を超えたなごやかな雰囲気の中、国際友情の熱気につつまれていました。

新潟県グリーンプラント スタート



1 プランの目標

新潟県民総合計画に基づき、「日本一の花と緑の県」を掲げ、うるおいに満ちた美しいふるさとをめざします。

2 プランの方針

(1)プランの位置づけ

本プランは、緑化関連諸計画及び施策との整合を図りながら、県民の緑化活動に取り組むための基本的な指針を示します。

(2)プランの期間

平成三年度から平成十二年度までの十年間

3 施策の展開

(1)花と緑をすすめる(新世紀へ 広がる花と緑の仲間づくり)

みんなの声を反映した、住民の合意による花と緑の行動計画づくりを進めます。

また、緑化グループなど仲間づくりを進め、楽しい地域活動として継続するよう、花と緑の銀行などによる支援体制を整備します。

①花と緑推進組織の整備

- ・まちぐるみ職場ぐるみで、地域緑化を進めます。(緑花グループの数を一、八九四から三、〇〇〇にふやします)
- ・緑化グループを指導育成するグリーンキーパーを増員し、資質の向上を図ります。(配置人員を三一一名から二、三〇〇名とします)



FLOWER and GREEN

花と緑は、私たちにうるおいとやすらぎを与えてくれます。ゆとりや心の豊かさが求められる現代において、花と緑につつまれた美しく快適な県土の創造は、県民の夢であり、願いです。

21世紀のしあわせ富山の創造を目指してスタートした新潟県民総合計画では、日本一の花と緑の県づくりを目標に掲げていますが、これを実現するために、新潟県グリーンプランがスタートします。

この新プランは、これまで進められてきた「富山県グリーンプラン」によって培われた、緑化推進の成果と機運を継続し、質・量とも、より一層充実した県土の緑化を進め、21世紀に向かって全県域公園化の実現をめざしています。以下、新プランの概要を紹介します。





②花と緑の推進基盤づくり

- ・幅広い県民の理解と協力により、新しい基金の創設をめざします。(花と緑の基金)
- ・花と緑の募金運動への県民の参加、協力を促進します。

③花と緑の地域計画の策定

- ・自主的な緑化活動を実践して、花と緑の地域づくりを進めるため、地域住民の合意形成による地域緑花協定の締結を進めます。

【地域緑花協定】

- ① 都市緑地保全法に基づく「緑化協定」
- ② 市町村の「緑化条例」等に基づいて、町内会や集落単位で市町村との間に締結する「花と緑の協定」など
- ③ 地域住民の間で緑化の合意形成がなされるもの(花と緑の銀行でも、市町村支店を通じて、緑化の合意形成がなされている地域への支援をしている。)

②花と緑をつくる (花が満ち緑

かがやくまちづくり)

- ・花と緑あふれる生活空間を創造するため、植物公園など花と緑のシンボルづくり、家庭をはじめ市街地や工場などの緑化、中心となる学校や市街地での花と緑の拠点づくりを進めるとともに、道路、河川などを活用した花と緑のベルトづくりを進めます。

また、植栽された花や緑が、みんなの協力で維持管理がなされるよう、その地域の緑化活動を支援します。

①花と緑の拠点づくり

- ・富山県植物公園構想を推進します。
- ・全市町村に花の名所を指定します。
- ・学校緑化をより一層進めます。
- ・工場の緑化面積率二〇%以上をめざします。

②花と緑のベルトづくり

- ・県土の骨格である道路、河川、海岸の花と緑のポリウムアップを図ります。
- ・雄大な富山の自然景観や豊富な水を活かし、県土を個性豊かな花と緑で演出します。

③花と緑をはぐくむ活動

- ・自主的、継続的で、楽しい花と緑の維持管理活動の実現に向け、県民と行政の連携、協力を推進します。
- ・生産者と緑花グループの連携を強化します。
- ・園芸店等を、花と緑の「緑花推進協力店(仮称)」として指定し、各種の緑化情報等の普及に協力する体制をつくります。



③花と緑にしたしむ(花を愛し

緑にしたしむふれあいづくり)

- ・花や緑に親しみながら県土の緑化を進めることができるよう、子供から大人まで、幅広い世代が楽しみながら、花や緑の知識を深めることができる緑化イベントの開催や、家庭、地域、学校が一体となった緑化学習を展開し、緑化意識の高揚を図ります。

①花と緑の意識の高揚

- ・全国都市緑化フェアや花と緑のこどもフォーラムなど、県民参加の楽しい緑化イベントを開催して、「花の富山」、「緑の富山」のイメージを全国へアピールします。
- ・県民緑花カレッジなどの学習機会の充実を図り、花と緑の生涯学習を推進します。



②身近な花と緑の保護と育成

- ・風致地区、県定公園等の指定制度を活用して市街地と周辺の緑の保全整備を進めます。
- ・屋敷林など富山を印象づける緑景観を保護します。

③自然環境の保全と活用

- ・自然公園の植生復元や利用規制、公有地化による保全を進めるとともに、ナチュラリストバンクを創設するなど、自然保護の普及啓発に努めます。
- ・地域森林計画をもとに、計画的に森林整備を進めます。

■緑化の目標

区分	現況(平成2年度)		目標(平成12年度)		備考
	箇所数等	面積又は延長	箇所数等	面積又は延長	
緑花グループ	1,894グループ		3,000グループ		
グリーンキーパー	311名		2,300名		
シンボル花壇	—		35箇所		全市町村
学校緑化	公立	94ha	138ha		
	(上記の内) 県立高校	36ha	58ha		
	チューリップの学習と交流のモデル花壇づくり	4,605学級	6,182学級		幼稚園保育所 小・中学校
	—	—	132校		小・中学校
植物公園	—	—	16箇所	109ha	中央植物園など
都市公園	※1人当たり 9.0㎡		1人当たり 13.5㎡		県総合運動公園 黒部市総合公園など
農村公園	84箇所	18ha	142箇所	29ha	
文化財公園	7箇所	9ha	17箇所	21ha	小杉丸山遺跡など
自然公園	8箇所	119.754ha	8箇所	120.544ha	中部山岳国立公園 有峰県立自然公園など
県定公園	6箇所	6.142ha	17箇所	8.042ha	神通峡、大岩眼目など
自然環境保全地域	11箇所	624ha	15箇所	632ha	東福寺、山の神など
道路	103km		240km		街路樹11,200本→33,600本 県管理国道、県道
幹線農道	44km		75km		
港湾	15箇所	14ha	30箇所	52ha	
工場	※ 408ha		507ha		

※は、元年度のデータ

毎日花と

遊んでいます

花と緑の街かと賞最優秀賞

田中 照さん



国道八号線を新郷方面に進み、入善町役場の百メートル程手前で左折して細い道を少し行くと、色とりどりの花に囲まれた田中歯科医院が見えてきます。大小五百個のプランターにペゴニアやサルビアなどが咲き乱れ、道行く人や、医院を訪れる人たちの目を惹きつけています。

「花を見るためにわざわざ進路を変える車もあります。また、きれいですね。」

と声をかけてくれる人もいます。多くの人に、私のつくった花を楽しんでもらえるのは本当にうれいすね。毎朝四時半に起きて、ていねいに花に水をかける田中照さん。息子の博さんが開業している歯科医院の事務の



花づくりの

輪を広げよう

グリーンキーパー

中井三郎さん

「五十五歳で農協を定年退職した後、グリーンキーパーの話がもちこまれ、軽い気持ちで引き受けたんですよ。」と笑いながら話す福光町竹林のグリーンキーパー、中井三郎さん。グリーンキーパーというのは、花と緑の指導員のことです。現在県内に三十一人配置されています。その主な仕事は、地域社会における緑化運動をすすめるための技術指導や緑花グループの育成などです。

「グリーンキーパーになって何もほしくないというの気持ちだったので、自分の家の周囲に花をいっぱい植えたり、地区の常会で通学路に花を植えてみてはと提案したりしました。」この提案をめぐっては、賛否両論があったそうですが、何とか植える方向に落ち着き、草に負けない花ということで、カンナを植えることになりました。

「地区内の各年代から二三名の代表を選び全体で十二、三名のカンナ委員を選定。このカンナ委員を中心に地区の人総出で、植え付けを行いました。草むしりとか水管理が大変でしたが、花が咲くときれいで、やってよかったとみんなとても喜びました。これをきっかけに毎年カンナ祭りが開かれるようになりました。カンナのコンクールを行ったり、苦労

「特集」 日本一の花と緑の 県をめざして



傍ら、その周辺を花で彩るのに余念がありません。」「とにかく一年中花を絶やさないように、一月、四月は梅やらん、...十一月、十二月は菊というように工夫して栽培しています。年間を通じて五十種類の花をつくっている田中さん。朝、顔を洗うよりも、まず花の手入れをしないと、落ち着かないというくらいの花好きで、今では美しい花がある歯医者さんと評判になり、昨年十一月には、花と緑の銀行主催の全県下を対象とした花と緑の街かどコンクールで見事、最優秀賞を獲得しました。

話をしたりして今では楽しい祭りとして定着してきているそうです。はじめ三、四百株だったカンナが現在では千百株余りにもなり、平成二年度の花と緑の銀行主催の花の街道コンクールで竹林西島公民館が最優秀賞を受賞しました。



「花壇づくりをするようになってから、非行が少なくなりました。花を栽培することにより心がなごんだのではないのでしょうか。花づくりを通して、優しい心を育ててもらいたいですね。」と話す井田校長。初め花壇をつくる時、河原みたいな所を耕し、牛ふんなどを運んで土づくりをしました。が父兄から「何で学校で牛ふんを運ばんなんが」という批判もあつたりして大変でした。でもコンクールで六回の金賞を含め十回連続入賞し、父兄の方が「本当にきれいだね」と目を細めているのを見ると、今はなんとも言えないくらい嬉しいですね。これまでも生徒たちの花壇活動を陰で支えてきた用務員の大藪利夫さん。大変懐かしそうに当時を振り返ります。

そして今年も生徒たちは夏休みの間もずっと毎日欠かさず花に水をやり、美しい花壇づくりに取り組んでいます。



巨大フラワーアートも

みんなで作つくろう

花壇コンクール十年連続入賞

宇奈月中学校

黒部川上流のどかな田園地域の一角に、花と緑に包まれた宇奈月中学校があります。この中学校には大小四つの花壇がもたられており、中でも正面にある大型花壇には目を見張るものがあります。

ペゴニア、サルビア、マリーゴールド、カンナなど多種多様な花々が色鮮やかに植栽されています。



宇奈月中学校では、美しい自然を愛し、勤労を尊ぶ生き生きとした生徒を育てることを目指し、十年前から全校あげて学校花壇づくりに取り組んでいます。一年生は小型花壇、二年生は中型花壇、三年生は三百平方メートルの大型花壇というように徐々に花になじみ、卒業年には、花と緑の銀行主催の学校花壇コンクール対象の大型花壇を担当します。デザインから配色、植込、管理まで生徒自らが考え、自分達の手で行っています。

「アウト!!」

一瞬の沈黙の後の大歓声
遥かなる甲子園に向けて
球児たちの暑い夏は続く



撮影／松浦義一

PEK UP TOYAMA

健康で快適な暮らしのために

レポーター：坂口千恵子(ミス牛岳 白雪姫)



▲細菌を培養して検査する

夏は食中毒や水不足が心配となる季節です。県民や県外から訪れる人に、安全でおいしい富山の味を賞味してもらうため、環境衛生課では食品の製造・販売についてきめの細かい監視指導を行っています。また、理・美容業、クリーニング業の営業許可や温泉の利用許可など県民の健康と潤いある生活を側面から支える事業を行い、日本一の健康県づくりに大きな役割を果たしています。

住みよく衛生的な生活環境をつくる

今回は、環境衛生課におじゃましました。水や食べ物、私達の生活にとって不可欠のものです。これが安全に安定的に届いていないと、私達の生活は大混乱に陥ります。そのようなことがないように、陰で支えているのが、環境衛生課なのです。

環境衛生課には、環境衛生係、食品肉肉係、水道係があり、分室として動物管理センター、出先機関として食肉検査所があります。環境衛生係では、理容業、美容業、クリーニング業、公衆浴場等の環境衛生営業施設の衛生水準の確保のため、監視指導を行っています。一般的に小規模経営の多いこの業種は、昔は衛生水準が低かったのですが、最近の県民の生活水準の向上や衛生観念の普及により大幅に改善されてきているようです。また、新しい所にはお客さんは、行きたがらないので、それも当然のことといえるでしょう。



▼食品衛生監視



動物管理センターでは、狂犬病の予防や動物による危害を防止するため、放し飼いやつた犬などの捕獲などを行うほか、動物愛護の心を広めるために、「子犬、子ねこの里親さがし」やペットの健康相談等を行っています。昨年、ここへ持ちこま

安全で衛生的な食品の確保

毎日、多くの食品が市場に出回っています。買い物をする家庭の主婦にとって一番気にかかるとは、食品が安全なものかどうかということでしょう。現在、日本の食品の半分が輸入食品だと言われています。それらの中には、体に有害な細菌や農薬、添加物等が含まれている場合もあります。また、取扱いが衛生的でないと、調理や加工のときに細菌に汚染され食中毒の原因になります。そのため、食品肉肉係では、食品の科学的分析やぬきとり検査による監視指導等を行っています。最近では業界の自主管理体制も整ってき

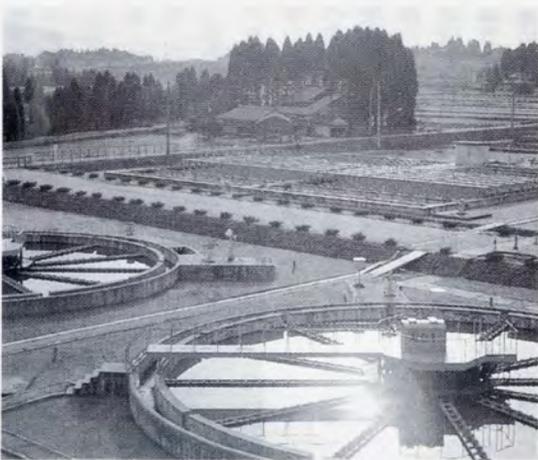


ので、県内の食品は安心して食べられるそうです。実際に科学的分析による検査や食品衛生監視の現在を見学させていただきました。他県に類をみない厳重な体制で行われています。国内の食肉のみならず、海外からの輸入品にも対応できるそうです。また、病原微生物を取り扱うため、日本でも珍しいクリンルームや安全キャビネットによる検査を実施しています。次に、小売店へ行って食品衛生監視に立ち合いました。訪れたスーパーは自主努力がなされていて、とても衛生的でした。

豊かな水づくりを目指して

水は日常生活に絶対必要なものです。人は一日あたり、最低18リットルの水を使用しているそうです。

わが県の水道は大正九年に供用がはじまり、現在では、県人口の約九割の人が利用しています。水道係では、いつでもどこでも安全でおいしい水を県民に安定的に供給するため、水道の広域化や、水源の確保に努めています。



▲和田川浄水場

私は、広域水道事業を行っている射水水道企業団を訪れました。企業団では、「ふれっしゅ水道」を合言葉に、水道普及率の向上とレベルアップを図り、災害に強く、信頼性と

▼射水水道企業団にて



ゆとりのある水道を目指しています。そのため、コンピュータを組み合わせた遠方監視制御システムによって配水を管理し、災害や漏水にも万全を期しています。また、老朽施設の改善や経営の効率化を図り、安定的な給水に努めているそうです。

取材の最後に、大角課長さんが私に「奥さんになって家事をするようになったら、冷蔵庫の中は、きちんと整理しておいてください」と話されました。ほんの少し気を使うことで、食中毒を防げるのです。皆さんも環境衛生ということを、もっと真剣に考えてみてはいかがでしょうか。

ふるさと
みてある記

庄川町

水と緑と木工の町、庄川。四季折々の鮮やかな彩りを映す庄川の流れに沿うようにして庄川町水記念公園がある。昭和五十六年から総工費二十億円をかけて整備してきたこの公園は、昨年七月、水資料館の完成により、全施設がオープンした。

まず目を引くのは、勢いよく噴き上がる噴水。自然落差を利用して最高三十六メートルまで噴き上がるこの噴水は、庄川町在住の日展作家、

水と戯れ、水に親しむ。

庄川町水記念公園



▲水記念公園噴水



▲庄川ウッドプラザ

辻志郎さんにより製作されたもので、「宇宙への旅立ち」というタイトルがついている。水の里庄川を象徴するように豊富な水を絶え間なく噴き上げている。水資料館（アクアなないろ館）は、水にまつわる歴史と、その昔、この庄川近辺で盛んに行われていた流木作業にかかわっていた人たちの生活を垣間見ることのできる、ジオラマや調度品が展示されている。中でも圧巻なのは、映像ホールで上映される「水のプレリユード」。公園内を案内していただいた管理運営協議会の加藤さんが「まさに水の中に飛びこんだような気分になれるんですよ」と自慢するこの映画は、三面マルチ映像に音や光がファンタジックに重なる臨場感あふれる演出で、まさしく水の魅力を体感できるものになっている。この水資料館の他にも、庄川町が生んだ日展作家、故松村外次郎さんが精魂こめて制作した絵画や彫刻などが展示即売された「町立美術館」や、建物の木目がひととき美しい「庄川ウッドプラザ」、庄川町特産の品を展示している「庄川町特産館」などもあり、どの施設もオープン以来、多数の見物客が訪れている。

この夏、心の渇きをいやしに、水記念公園に足を運んでみてはいかがでしょう。

ゆずずきをきかせた ユズの特産品!?

金屋柚子生産組合

庄川町といえば良質な「ゆず」の産地。庄川町では農村地域定住促進対策事業として、昭和六十年に「金屋柚子生産組合」をつくり、柚子を使った特産品づくりをすすめてきている。

「ゆずというのは、皮から身まで、余すところなく使えるんですよ」と話すのは、生産組合の斉藤さん。取材に行ったこの日はゆずの皮を使った佃煮を作る作業を見せてもらった。この佃煮の他にも、マーマレードやゆずみそなどを主に作っている。中でも特に評判のいいゆずみそは、多いときで一日に八十キログラムも作るとかこの日は、今試作中というゆずのジュースを試飲した。しばらくたてのゆずの果汁に、ハチミツを加えただけのものだが、一口、口に含んだ時のあのゆず独特の風味と、まろやかなのどごし。



▼豊作の年と不作の年が交互に来るゆずの実

鯉もおとと気分

「昔はこの庄川町でも鯉を飼うとる家がたくさんあって、「厄払いに使いたいがでー」と言えば「どれでも好きなが持っていかれー」言うてタダでももてきたもんですちゃ」と豪快に笑いながら話すのは、現在、金屋神明宮で総代を務める中村恒三さん。

もう三十年ほど総代を務めているだけに、厄払いの鯉の放流についても、大変詳しい。そもそもこの風習は、一八一六（文化十三）年に、金屋神明宮が今の場所に移されたときに始まったんですよ。お宮の遷宮祭に引き続いて行われた厄除祈願祭で、神前に供えられた数々の神饌の中に、庄川の生きのいい鯉があった。長時間の祭典が終わったあと、まだ鯉がピンピンはねているのを見て感動した厄男たちが、お神酒を飲ませて庄川に放流したのが始まりだと言う。

「昔は鯉だけじゃなくて、このあたりの山で獲れた雉子の番なんかもお供えしてただけど、今では鯉だけになったね。その鯉も、最近はこの庄川あたりにはいなくなってきたから、業者から買うとるんですよ。年々若い人が少なくなってきたことだがそれでも今年は十二匹の鯉を放流した。長い祭典の間、鯉をしつとさせるにはコ



▲金屋神明宮の総代をつとめる中村恒三さん

▲金屋神明宮厄払い鯉の放流

庄川町の概要

人口 7,416人(6月1日現在、県人口統計調査より)
面積 30.77km²

木地とゆずの町、庄川。木目の美しい庄川挽物木地は、国の伝統的工芸材料に指定されている。自然落差を利用した大噴水のある水記念公園や「全国名水百選」に選ばれた瓜裂清水(うりわりしょうず)など、豊かな水にも恵まれている。



▶ゆずを使った新製品が続々と登場



▲左から、金屋ゆず生産組合の斎藤さん、中村さん、真田さん

'91夏の青少年をまもる運動

【期間】 8月31日まで

期間中の重点項目

- ① 健全な家庭づくりの推進
- ② 地域ぐるみによる青少年を取り巻く有害環境の浄化
- ③ 地域社会等における健全育成活動の推進
- ④ 非行防止、健全育成に対する県民の意識の高揚
- ⑤ 非行防止活動の推進



スローガン
あたたか運動を
ひろげよう

あ 明るい家庭をつくろう

た 楽しい家庭をつくろう

た 助け合う家庭をつくろう

か 会話のある家庭をつくろう

問合せ先
県庁婦人青少年課
☎0764・44・3138

「小さな手・大きな目」

テレビ放送スタート

乳幼児期の家庭教育番組「小さな手・大きな目」が、八月三日(土)より内容を新たに始めてまいります。
乳幼児期の家庭教育の要点をわかりやすく解説し、これからの家族ぐるみ、地域ぐるみの子育てについて考えていただくための話題を提供します。

- ・北日本放送
- ・8月3日より毎週土曜日
- ・朝7時45分から8時まで

なお、平成元々2年度番組中、好評だったものをビデオ教材化して、各ライブラリに配布してありますのでご利用下さい。



少年に 良い環境を!

富山県の将来を担う少年達を健やかに育てるために、私たちの周りにある少年達に有害な環境をなくし、より良い環境を確保することが大切です。みんなで力を合わせて少年達に有害な環境をなくしましょう!

非行を防ぎましょう!
少年の非行等についての相談や連絡は、最寄りの警察署の防犯係または警察の少年相談専用電話(ヤングテレホン)へどうぞ!

*ヤングテレホンの番号
富山局 0764・41・5057
高岡局 0766・24・4157

家庭における省エネ対策

- ① 室温は26〜28℃を目途に、こまめに調整しましょう。冷やし過ぎは健康にもよくありません。また、冷房温度を1℃上げることにより、日本全体の家庭で、原油換算で25万キロワットの節約になります。
- ② エアコンのエアフィルターも2週間に一度くらい掃除をしましょう。汚れたフィルターは、最大10%程度の電力の無駄になります。
- ③ 冷蔵庫は壁への密着を避け、風通しのいい、熱気の少ない所に置きましょう。詰め過ぎに注意するとともに、熱い物はさましてから入れましょう。また、無駄な開閉はやめ、食品の出し入れは手短かにしましょう。
- ④ 照明器具はほこりを取りましょう。20〜30%明るさが増します。また、ランプの取り替えも早めに行いましょう。

自動車利用での省エネ対策

- ① 急発進、急加速等「急」の付く運転は止めましょう。急発進は1回10cc、急加速は1回5ccのガソリンが無駄になります。
- ② 無計画なドライブは止めましょう。10分間無駄に走れば500ccのガソリンの浪費となります。
- ③ 無駄な物を積み込むのは止めましょう。10kgの不要荷物を50km乗せると、ガソリン80ccの無駄になります。
- ④ 外出時は、できるだけ電車やバスを利用しましょう。

食品衛生週間 (8月1日~7日)

「夏の健康は食中毒の予防から」

毎年7月から9月にかけては、食中毒がもっとも起りやすい季節となります。食中毒にかからないよう次の三原則を念頭において、暑い夏を乗り切りましょう。

① 清潔 (食品に細菌をつけないこと)

料理の材料、まな板、包丁などはよく洗い、台所を整理整頓して清潔に心がけましょう。もちろん手洗いをひんばんに行うことも大切です。



② 迅速 (細菌が増える時間を与えないこと)

料理したものは、長く放置しないで早く食べるようにしましょう。生で食べるものは、特に注意しましょう。

※ 最近、会合等での料理を家庭へ持ち帰って食中毒になるケースが多くみられますので注意してください。



③ 加熱、冷却

(細菌を殺すか、増えないようにする点)
細菌は熱に弱く、多くの細菌は60℃以上で死にますので、十分に加熱しましょう。また、食品を保存する時は、細菌を増やさないよう、できるだけ5℃以下に冷却しましょう。



夏季の省エネルギー対策にご協力を!

参加費無料 第5回 有峰フェスティバルの開催

このイベントは、有峰湖を擁する有峰ふるさと自然公園の一角で、自然を愛する仲間が集い、レクリエーションを通じ、自然の恵みに身近にふれて、楽しい夏のひとつを過そうと企画されたものです。

日時 8月3日(土)12時～4日(日)15時

場所 有峰湖ふるさと国民保養地

イベント内容 ○木工品づくり ○埋蔵金オリエンテーリング ○イワナ、ニジマスとり ○ミステリーツアー ○ビックキャンプファイヤー ○さわやか健康マラソン ○自然ウォッチング

参加費は無料です。くわしい内容は、県庁自然保護課または、大山町役場商工観光課へお問い合わせ下さい。

「少年の主張」 富山県大会の開催

日時 8月12日(月) 午後1時30分から

場所 砺波市文化会館

発表者 県内の中学生約10名

表彰 最優秀賞(1名)・優秀賞(若干名)を決定し表彰を行う。

全国大会 県大会において「最優秀賞」に選ばれた少年の主張については、中部・近畿ブロック審査で選考後、ブロック代表として若干名が11月10日(日)少年の主張全国大会で発表する。

問合せ 県庁婦人青少年課
☎0764・44・3156

富山県高岡文化ホール開館5周年記念 宝生流・観世流・和泉流 第5回記念 「能楽鑑賞大会」

高岡文化ホールの開館5周年にあわせ恒例の宝生流・観世流・和泉流三派合同の第5回記念「能楽鑑賞大会」が左記により開催されます。能楽界の重鎮として中央で活躍されている方々の奥深い至芸が披露されます。

〈日時〉 平成3年8月18日(日)
第1部9時から 第2部13時から

〈場所〉 富山県高岡文化ホール大ホール

〈入場料〉 S席五、〇〇〇円 A席四、〇〇〇円

〈問合せ〉 富山県高岡文化ホール
☎0766・25・4141

移動芸術祭(ミュージカル公演)



移動芸術祭は、文化庁及び富山県移動芸術祭実行委員会の主催で、優れた舞台芸術を多くの人に低料金で鑑賞していただくため、特に企画されたものです。

演目 音楽座ミュージカル「シャボン玉とんだ宇宙までとんだ」

日時 9月7日(土) 午後6時30分

会場 砺波市文化会館

入場料 S席(前売) 四、〇〇〇円
(当日) 四、五〇〇円
A席(前売) 三、〇〇〇円
(当日) 三、五〇〇円
学生席(前売) 一、五〇〇円
(当日) 二、〇〇〇円(小・中・高校生用)

問合せ先 砺波市文化会館
☎0763・33・5515
☎県庁文化課0764・44・3455

平成3年度

「心の輪を広げる体験作文」の募集について

学校や職場、地域において、障害を持つ人と持たない人相互の心のふれあい体験を通じて、あなたが学んだことや感じたことを作文にしてお寄せください。

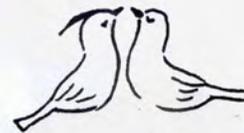
応募資格 小学生以上であればどなたでも応募できます。小学生、中学生、高校生、一般の4部門で募集します。

応募作品 四百字詰原稿用紙に、小学生、中学生は2～4枚程度、高校生、一般は、5～8枚程度とします。

別紙に、タイトル、氏名、年齢、性別、職業又は学校・学年、住所、電話番号を書いて応募作文に添付してください。

応募締切 9月9日(月)当日消印有効

問合せ及び応募先 〒930 富山市新総曲輪1の7 県庁障害福祉課
☎0764・44・3211まで



「融合化ビジネス コンベンション in とやま」 の開催内容

内容 異業種、異分野の中小企業者が、全国から集まり、交流・懇談を通じて企業間の連携を深め、新製品開発や販路開拓、職場環境整備など「魅力ある中小企業づくり」への方策を探ります。

期日 平成3年9月4日(水)、5日(木)

場所 ホテルニューオータニ高岡ほか

問合せ 融合化ビジネス・コンベンション in とやま 開催委員会事務局(県庁中小企業課内)
☎0764・44・3249(直通)
☎0764・31・4111(代表)内線3635

フォーラム 「女がかわる男がかわる」 の参加者募集

男女がともに集まって、お互いに本音で話しあってみませんか。

●参加は無料です。
(事前に申込みください)

●申込み方法 葉書・電話・FAXにて

●問合せ・申込先 〒930 富山市新総曲輪1の7 県庁婦人青少年課
☎0764・44・3137(直通)
FAX 0764・44・3479

日 時	平成3年8月10日(土)	平成3年9月7日(日)
場 所	魚津市駅前新町4-2 ホテルサンルート魚津 2階白鶴の間	東砺波郡福野町寺家新屋敷20 福野文化創造センター 円形劇場ヘリオス
テ ー マ	「いっしょに語ろう*おとこ社会*」	一家と外、おとこおんな
内 容	13:00-13:30 受付	受付
	13:30-13:40 開 会	開 会
	13:40-14:40 基調講演 講師：鹿嶋 敬(日本経済新聞社婦人家庭部次長) 演題：「男社会に関する考察(仮題)」	基調講演 講師：村瀬春樹(フリーライター) 演題：「男社会のおんなたち おとこたち」
	14:50-16:00 シンポジウム コーディネーター、シンポジスト2名、基調講演講師	シンポジウム コーディネーター、シンポジスト2名、基調講演講師
	16:00-16:10 閉 会	閉 会

第39回「手足の不自由な友におくる 友情の図画」コンクールについて

内容 手足の不自由な児童への理解を深め、完全参加と平等の理念の浸透を図るため、県内の児童・生徒から図画を募集します。優秀作品については毎日新聞紙上で発表するとともに、「友情の絵はがき」の原画に採用します。

応募資格 県内の中学校、小学校、幼稚園及び保育所の生徒、児童(3部門)

応募作品 画題は自由(風景画、人物画、その他)

画材は原則四つ切り画用紙で、裏面に画題、学校名、学年、氏名を記入。

応募先 〒930 富山市新総曲輪1の7 県庁障害福祉課 ☎0764・44・3213
応募〆切日 平成3年9月14日(金)

表彰 各部門 富山県知事賞ほか

明るい選挙 啓発ポスター募集

富山県選挙管理委員会では、児童・生徒の皆さんを対象に、明るい選挙のポスターを募集しています。大きさは45cm×30cmから55cm×40cm以内のもので、きれいで違反のない選挙や誰かがこぞって投票する選挙を呼びかける内容のものをどしどし応募ください。

9月10日(火)までに、学校又は住所地の選挙管理委員会へ作品を提出ください。

問合せ 各市町村の選挙管理委員会まで

6月14日 自治体出展推進会議
6月15日 まちづくりシンポジウム



富山県総合健診センター増築竣工式
交通安全青年カレッジ
本会議



6月17日
6月18日 北陸新幹線建設促進富山県民協議会総会
富山県北陸新幹線対策連絡協議会総会
6月20日 とやまトレードフェア'91開催(~23日)
6月21日 JET '92キャラバン隊結団式
6月22日 富山県婦人交流国際フェスティバル
6月25日 JET '92キャラバン隊出発式



6月29日 ヤングフォーラム・イン・トヤマ



7月1日 夏の青少年を守る運動街頭啓発
第41回社会を明るくする運動街頭宣伝
7月2日 知事のまちなまり(庄川町)
7月4日 富山県立近代美術館10周年記念式典
7月5日 第3回世界ポスタートリエンナーレトヤマ
(~9月5日)
7月8日 とやま環境財団第1回理事会
7月9日 富山県高度情報化推進会議
7月10日 博覧会開幕1年前および前売入場券発売記念イベント

LPガスの安全な使用 安全器具設置期限せまる

LPガスは、家庭用エネルギーとして、私たちの生活に広く使用されていますが、ちょっとした不注意による事故が時折発生しています。

現在、全国的にLPガス安全器具普及促進運動が展開されています。特に、集合住宅、業務用施設については、9月末日までに取り付けることになっていますので、施設管理者はマイコンメータII等の安全器具設置にご協力ください。

問合せ 富山県環境整備課または(社)富山県工
ルピーガス協会 ☎0764・41・6993

婦人相談所の御案内

★婦人相談所はこころの道しるべ
婦人相談所では、婦人が抱えるさまざまな問題や悩みについて相談に応じています。

◆たとえばこんな時…

- 結婚・離婚・男女関係
- 夫の暴力・浮気・蒸発
- 家庭内の不和やいざこざ

なお、電話相談も行っていますので御利用ください。

☎0764・21・6252
または0764・21・6287
場所 富山市花園町4の9の5

平成3年 9月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
7	土	J R 富山駅前	10:00~16:00
9	月	城端町役場前	10:00~15:30
12	木	新湊市役所前	10:00~15:30
14	土	富山西武前	10:00~16:00
		魚津サンプラザ前	10:00~15:30
15	日	富山西武前	10:00~16:00
19	木	入善町商工会前	10:00~15:30
20	金	小矢部市津沢公民館前	10:00~15:30

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除)、献血を受付けています。

県民カレッジ

ビデオ実技セミナー受講者募集

ビデオ作品をつくるための基礎知識、技能(題材の設定、撮影から音入れまで)の習得をはかります。

NHK富山放送局チーフカメラマン 大杉 勇
定員 30名
資料代 五〇〇円
(カメラ、ビデオテープは各自持参)

日時 9月6日(金)~11月14日(木)の期間
中6回午後1時30分~4時30分
場所 県民カレッジ
(教育文化会館 505号室)
講師 NHK富山放送局チーフディレクター奥野博邦

申し込み・問合せ先
県民カレッジ
☎0764・41・8635

県職員採用中級・初級試験の案内

試験区分及び採用予定人員

中級試験	初級試験
一般事務 4名程度	一般事務 1名程度
農業 1名程度	学校事務 6名程度
農業土木 1名程度	警察事務 2名程度
林業 1名程度	第一次試験日 10月6日(日)
学校栄養職員 1名程度	申込受付期間 8月16日(金)~9月5日(木)

その他、受験資格など詳細については県人事委員会まで
☎0764・41・6166 (内線308)

警察官(大卒以外)・婦人警官募集

○採用予定人員
警察官B(大卒以外) 約13名
婦人警官 約2名

○受験資格
警察官B 昭和39年4月2日か
昭和49年4月1日までに生まれ
た男子の方。ただし、学校教育法
による大学(短大を除く)を卒業
された方、又は平成4年3月末ま
でに卒業見込みの方は除きます。

婦人警官 昭和42年4月2日
から昭和49年4月1日までに生ま
れた女子の方。学歴は問いません。

○第一次試験日
10月20日(日)

○第一次試験会場
県立富山東高等学校

○第一次試験科目

採用予定人員

警察官B(大卒以外) 約13名

婦人警官 約2名

○受験資格

警察官B 昭和39年4月2日か

昭和49年4月1日までに生まれ

た男子の方。ただし、学校教育法

による大学(短大を除く)を卒業

された方、又は平成4年3月末ま

でに卒業見込みの方は除きます。

婦人警官 昭和42年4月2日

から昭和49年4月1日までに生ま

れた女子の方。学歴は問いません。

○第一次試験日

10月20日(日)

○第一次試験会場

県立富山東高等学校

○第一次試験科目

行政書士試験の実施について



日時 10月27日(日)午後1時30分~5時
場所 富山県立雄峰高等学校
願書交付期間 8月1日(木)~9月20日(金)
願書受付期間 9月2日(月)~9月20日(金)
受験手数料 五、五〇〇円
問合せ 県庁総務課
☎0764・31・4111 内線3213

迎える心の体現者

不二越迎賓館



県内の山村などでも、すでに主人なき家が多く散在し、使うあてのないままに放置されている。大衆化した現代住宅に比べれば、住む人のない古き民家はまさに『本物』であり、識者が見れば宝の持ち腐れを嘆く声が聞かれそうな家も少なくない。特に、残念なこ

とだが、その中でもすばらしい家屋を選んで県外へ移築し、そこで郊外レストランなどに改装されるなど、人寄せにするために買取り、これは山村が抱える過疎化という社会現象の一面に過ぎないこともかもしれないが、今私たちがここで考えなければならぬのは、極めて身近なところに建築として価値のある『主人なき家』が放置されているという現実。それは、この事実が社会的に広く知られていないこと、古い『民家建築』に価値を持つだけの識者が県内に極めて少ないという知的な問題がある。戦後、古いものはほろ臭いものと言われ、粗末にしてきた象徴的な現象なのかもしれないが、果たしてこのまま朽ちるにまかせておいてよいものであろうか。資金と公害をまきちらして新しいモノを造るチエを働かせる前に、自然や古いものを生かして使う知恵をもつと持つべきなのではなからうか。



写真/風間耕司(日本写真家協会会員)
文責/岡田順一(富山エディータサロン)

「不二越迎賓館」は、創業60年記念事業として、古い黄金時代(初代)を偲ぶにふさわしい痕跡を刻んでいる。不二越は、創業、そして苦難時代を乗り越えてきた企業の姿をしっかりと見つめ、次代を担う社員の教育や企業CIにも役立てたいと考えた。建築本体の説明に筆を運びたいところだが、百聞は一見にしかず、であり、読者の好奇心にお任せするとして、ここで一つだけ前段との関係で話をするとすれば、それは、住む人のない古き家を記念事業云々は別としても、そこに価値と想いをかけるだけの見識を持つた人物が、この迎賓館完成の陰にいたということである。決断を下した企業のトップの存在があったからこそ、迎賓館という形が、今ここにある。残したものは形に見えるが、残ったものは知恵であり、心であった。新しいものは残せない世界がここにある。

表2 エッセイ/北野裕美子
P11 ひと/山本浩
P2 クローズアップ
①交通安全青年カレッジ
②とやまトレッドフェア'91
③富山県婦人国際交流フェスティバル
P6 ④第3回世界ポスター・トリエンナーレトヤマ
P12 特集/日本の花と緑の県をめざして
PIN UP TOYAMA
撮影/松浦義一
P14 県庁探訪/環境衛生課
P16 ふるさとみてる記/庄川町
P18 県からのお知らせ



●表紙撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
七月七日、太閤山ランドプールのプール開きが行われました。無料開放ということもあって約六千四百人が入場し、終日大にぎわい。
元氣いっぱい泳ぐ子供たちの表情はいきいきととても楽しそうでした。

県政については

県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル

物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

消費生活については

消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

交通事故については

富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内759
相談110番
家庭問題・悪質商法・寛せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV RADIO NEWS PAPER

テレビ広報

- チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔・陽子のふるさとトーク」
- 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにち富山県です」※翌日同時間再放送
8/4 きれいな水を守るろ
8/11 立山で活躍する女性たち
8/18 木彫で国際交流
8/25 県土にやさしい環境づくり
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

ラジオ広報

- FMとやま 「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

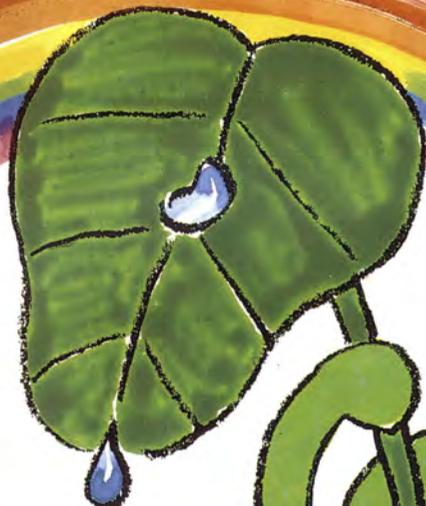
編集後記

♥庄川町へ取材に行ったときのこと。暑い中での取材で渴いたのをいやしに、瓜裂の清水へふらつと立ち寄った。すると、富山から来たという女性二人が、「普段はなかなか飲めんからね」と、ニコニコ笑いながら、大きな柄杓で三杯も飲み干しておられた。いくら名水とは言え、だいたいようぶだったのかな。(T)

◆婦人国際交流フェスティバルでは、いろいろなゲームが行われましたが、日本語のわからない外人さん達に、ルールを説明するのに係員は四苦八苦。身ぶり手振りで懸命に「日本語」で説明していました。それでも、案外伝えたいことは通じるもので、ジェスチャーは万国共通語だと思いました。(A)

◆「花なしではもう生きられませぬね。毎日花の匂いかきながら花と話しています。もっとも健康的な遊びですよ」と田中照さん。体にもいつも悪い事ばかりしている小生は、これはいい事を聞いたと、さっそく翌日の朝自宅の花壇へ行って、「おはよう」と話しかけました。花は沈黙したまま何も語ろうとはしませんでした!?(M)

水…みんなの宝



水は限りある貴重な資源です

8月1日～7日は
「水の週間」です

水は限りのある資源です。しかし、あまりにも身近な存在であるため、その重要性を見過しがちです。

わたしたちにとって何よりも必要なことは、この貴重な水一滴一滴を一人ひとりがムダなく大切に使うことです。

きれいで豊富な水資源を次の世代に引き継いでいくことがわたしたちの責任なのです。



FIRST JAPAN EXPOSITION IN TOYAMA '92
第1回ジャパンエキスポ富山'92

会期/平成4年7月10日金-9月27日日80日間 会場/県民公園太閤山ランド